



美山中学校だより

本校 HP 1/23～



次のステップにつなげる3学期に

大雪に見舞われた1年前と打って変わって、穏やかな年末年始にご家族おそろいで佳き年を迎えられたことと存じます。明けましておめでとうございます。旧年中は、本校の教育活動に、格別のご理解とご支援をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



さて、本年度を締めくくる3学期を昨日始業いたしました。年末の2学期終業式では、まじめで前向きな生活態度を評価しつつ、他との比較ではなく自身の成長を基準に、より高いものを求める姿勢をもって新たな年に臨んでほしいことを伝えました。一人一人が書き初めに書いたことばのように、目標を持って努力する日々であってほしいと願っています。

中高生・小学生を持つ多くの親御さんから「スマホ」・「ゲーム」・「YouTube」等、情報端末あるいはそれに関する言葉が聞かれます。それらに向かう時間の長さ故、家庭学習や場合によってはコミュニケーションの妨げとなっていることを心配されている状況が垣間見えます。一人一台時代の情報端末普及状況を反映しているようです。時代の流れで対象は変わろうとも、いつの時代も、大人も子どもも、楽しいことに心奪われ、楽な方に流される弱さを持っています。しかし、大人には中学生時代のそれを乗り越えた経験があり、今も日々自分をコントロールしながら社会生活を営んでいます。ぜひそのことを語ってください。

自らの展望を持ってがんばる力、自制する力等はまさに点数に表れることのない非認知能力と言われるものですが、その力が将来を大きく左右することになるはずです。生徒の皆さんは、なりたい自分を描きながらがんばる3学期にしてください。



生徒会新体制

12月の改選により、各役員が交代し、3年生は希望進路実現に向け集中します。

会 長	中嶋 禅太	図書部長	森 日鞠
副会長	加地 碧希	文化広報部長	長野 うた
議 長	早崎 駿太	体育部長	宮本 桃羽
	小野 藍	環境福祉部長	岩間 龍之介
総 務	磯貝 輝裕	保健部長	今井 このは



会長 中嶋禅太 君より



僕は皆さんに「行きたい」「通いたい」と思ってもらえるような学校にしていきたいと思います。具体的には、行事ごとを企画したりして、楽しみを増やしていきます。

また、そのような学校を生徒全員で作り上げていきたいと思っています。全員で作り上げるということのためにも、意見をなるべく取り入れるようにしたいです。

そして、僕は率先して動き、学校全体を引っ張っていくことを心掛けたいです。

☆京都府教育委員会主催「小論グランプリ」C分野入賞作品

『「チーム」の重要性』

南丹市立美山中学校 3年 大萱 真央

先日、私の学校でも体育祭が実施された。三学年を赤と青の二つの「チーム」に分け、異年齢集団で競い合う。学年を超えて協力し、お互いを思いやったり励まし合ったりしながら高め合うことを目的とするので、当然チーム主体で行う競技も多い。今、様々な分野でこの「チーム」の概念が広がっている。



もうすぐ丸三年になるコロナ禍。感染症の急激な拡大に医療崩壊ばかりが国民の関心事となったが、現場では「チーム医療」をキーワードに、医療の在り方をこれまでとは大きく変えようとする動きがある。

厚生労働省によると、チーム医療とは「医療に従事する多種多様な医療スタッフが各々の高い専門性を前提に、目的と情報を共有し、業務を分担しつつも互いに連携・補完し合い、患者の状況に的確に対応した医療を提供すること」であり、医師・看護師だけでなく薬剤師・助産師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・臨床工学技士・放射線技師・臨床検査技師・事務職員・介護職員など多くの人が多角的に関わりながらチームで治療に当たる医療体制のことをいう。

人手不足の問題や複数の医療従事者が関わることによる連携ミス発生の危険等、乗り越えねばならない課題もあるが、「疾病の早期発見・重症化予防などの医療・生活の向上」「効率性の向上による医療従事者の負担の軽減」「標準化・組織化を通じた医療安全の向上」などのメリットがあり、より早期の、より多くの現場への導入が望まれている。

実際に、医療現場には一九七〇年頃から欧米で普及し始め、一九九〇年代後半に日本に導入された「栄養サポートチーム」があり、現在は、じょく瘡の予防・早期発見に努める「じょく瘡管理チーム」、治療することがほとんどできない患者のケアをする「緩和ケアチーム」、緊急性がある患者の対処をする「救急医療チーム」が活躍するなど、「チーム医療」が既に実践され、効果を上げているという実績もある。二〇〇九年八月には、厚生労働省が「チーム医療」の推進に関する検討会を立ち上げている。

急速に変化する現代社会では、これまで蓄積されてきた知識に加えて、その変化への対応力が求められる。予測不可能な変化を遂げるという未来社会では、ますますその傾向が強まるのだろう。学校ではペアやグループでの学習の機会が増え、就職試験でも個人の知識や能力だけでなく、協調性や力を合わせて物事を解決する力が重視されると聞く。自分の力だけで成し遂げることも大事だが、お互いの不足を補いながら目的を達成することや個人の役割を果たしながら個人としてもチームとしても成長することが重要なのだ。



看護師になるという夢を持つ私は、将来この「チーム医療」という制度に関わり、もっと広く普及させたいと思う。チームの概念を重視し、知恵を出し合い、協働して目的を達成しなければならない時代が来ている。